

北茨城市民病院ホームページリニューアル及び保守・運用管理業務委託仕様書

本仕様書は、北茨城市民病院（以下「当院」という。）が「北茨城市民病院ホームページリニューアル及び保守・運用管理業務委託」の受託者を公募するにあたり、必要とする基本的事項について定めるものである。

1 業務名

北茨城市民病院ホームページリニューアル及び保守・運用管理業務委託

2 契約期間

リニューアル：契約締結日から令和7年3月31日まで

保守・運用管理：令和7年4月1日から令和12年3月31日まで（5か年）

※ 現行ホームページとの切り替えは、令和7年4月1日を予定

3 目的

北茨城市民病院（以下、「当院」という。）のホームページは、平成26年の新病院移転開院時にリニューアルしてから10年、また、北茨城市民病院附属家庭医療センター（以下、「家庭医療センター」という。）のホームページは、平成27年の診療所開設時にオープンしてから9年が経過しており、昨今のモバイル端末の急速な普及等の社会情勢の変化に対応できておらず、レスポンシブウェブデザインに対応したホームページへの再構築が必要となっている。

また、閲覧環境の変化だけではなく、医師の働き方改革に係る医療機関の適正利用や地域連携、緊急事態、新興感染症等の医療情勢の変化に対応する必要がある、迅速かつ的確な情報発信が急務となっている。

さらに、当院は医療人材の少ない地域であるため、病院運営の柱である医師、看護師をはじめとした医療職員、あるいは病院運営を支える事務職員等様々な人材の確保が課題となっている。

特に、北茨城市の将来患者動向では、入院患者が令和17年度に向けて増加傾向になる可能性があり、医師をはじめとした医療職及び高齢者医療に対応するための介護系職種の人材確保が急務となっているため、職員採用につながるホームページの再構築が求められている。

以上のことから、患者やその家族、医療従事者、求職者、一般利用者等、様々な方に向けてシンプルで分かりやすいナビゲーション、明瞭な情報の整理、ユーザーの利便性を重視したホームページ全体の構成の見直しをするとともに、当院に対する認知度、関心、理解を好意的な形で向上させ、単なる情報発信にとどまらず、集患のためのツール、患者や開業医等他の医療機関が当院を選択できるツール、さらには働き先として選択するためのツールとして魅力あるホームページにするため、全面的なリニューアルを行うものである。

4 対象範囲

- (1) 北茨城市民病院ホームページ

<https://kitaibaraki.info>

- (2) 北茨城市民病院附属家庭医療センターホームページ

<https://fa.kitaibaraki.info>

5 基本方針

- (1) 厚生労働省が策定した「医業若しくは歯科医業又は病院若しくは診療所に関する広告等に関する指針（医療広告ガイドライン）」及び「医療機関ホームページガイドライン」に沿った、適切な表現によるホームページとすること。
- (2) スマートフォン、タブレット端末等に対応した、レスポンシブデザインを取り入れること。
- (3) パソコン、スマートフォン、タブレット端末等の操作に習熟していない人でも容易に情報に接することができるよう、ユーザビリティ及びアクセシビリティに配慮したサイトとすること。
- (4) 医師、看護師、コメディカル等が、当院で働きたくなるような魅力的なホームページ及び患者にとって当院の診療内容や受診方法がわかりやすいホームページとすること。
- (5) 当院職員がスムーズに情報発信できるよう、専門知識がなくともページ作成、編集等の作業が可能であり、当院職員にとって使いやすいシステムとすること。
- (6) ランサムウェアをはじめとしたセキュリティリスクや、ハード・ソフトウェアの障害などのリスクに対応できる、安心安全なシステムとすること。

6 業務概要

- (1) 現行ホームページの課題、改善点、不足点の洗い出しを行い、その内容を分析・整理した上で、リニューアルの目的や基本方針等を勘案し、リニューアルに向けて総合的なコンサルティングを行うこと。
- (2) 本業務の仕様は、当院が最低限必要と考えているものであるが、受注者は、その専門的な立場から今後の技術革新やホームページのあり方を見据え、有効な手段や効果的な方法があれば、本業務の費用の範囲内で積極的な提案を行うこと。
- (3) リニューアル対象範囲であるウェブサイトの情報を基に、本仕様書「7 リニューアル要件」に沿ったウェブサイトを構築すること。必要に応じて、当院への取材や撮影等を行うこと。
- (4) 本仕様書「8 CMS 要件」を満たすシステムを導入及び構築すること。また、当院職員向けの CMS 操作マニュアル等を準備し、稼働開始までに CMS 操作に関する研修を実施すること。
- (5) 構築作業及び稼働開始後において、CMS 等のホームページ保守及び運用管理を行うこと。また、保守範囲内で CMS 操作及び機能に関する問い合わせへの対応を行うこと。
- (6) 日本国内の病院ホームページの構築実績のある技術者を本業務に携わらせること。

7 リニューアル要件

(1) 基本構造

ア 利用者にとっての使いやすさを優先し、必要な情報を探しやすいデザイン及びレイアウトとすること。また、利用者にストレスを与えることなく、直感的に目的の情報にたどり着けるよう、誰にでもわかりやすく使いやすい構成とすること。

イ 原則3クリック以内、最大で5クリック以内で、目的とするコンテンツに辿り着く階層構造とすること。

ウ レスポンシブウェブデザインとし、単一のファイル作成でパソコン、スマートフォン、タブレット端末等の異なるデバイスに対して表示内容が最適な状態に変化すること。

エ 主要ブラウザ（Edge、Chrome、Safari、Fire Fox）に対応し、デザインが崩れないこと。

オ リニューアルにおいて必要となる新規ページ等の作成は、当院と協議しながら作業を進めること。

(2) 安全面

ア SSL に対応したお問い合わせフォームを作成すること。

イ 常時 SSL に対応させること。

ウ アクセスログデータが取得及び閲覧できる機能を有すること。

(3) サイト設計

ア 利用者の視点に基づいた分かりやすい情報分類、タイトル名、サイト構造設計により、利用者が迷うことなく情報を取得できるメニュー構成とする。また、現在のサイトで不足していると思われるコンテンツや情報取得を支援する仕組み等の提案を行うこと。

イ サイト内検索機能を設けること。

ウ 事業バナー掲載エリアを設置すること。バナーは管理画面より差し替えができること。

エ バナー広告の掲載エリアを設置すること。掲載期間を日時指定できることが望ましい。

オ 本仕様書に記載はないが、今後導入を検討している機能などリニューアル時に追加費用なしで実現できる場合は合計金額に含めて提案すること。なお、有償カスタマイズとなる場合は、提案の合計金額には含めず、機能を追加した場合の参考見積を別に提出すること。

8 CMS 要件等

(1) 条件

ア 導入する CMS は、地方公共団体、民間企業等において稼働実績があり、参加申込書の提出時点で稼働しているものとする。また、フリーのオープンソース CMS の利用は避け、パッケージ化（市販）されたもので、開発ベンダーによるサポートを受けられる製品であること。

イ HTML 等の専門知識がない当院職員でも容易に更新できる、利便性の高い CMS を導入すること。また、トップページや特定部分を除くすべてのページを原則 CMS で更新できるようにすること。

ウ システムの運用管理について、専門的な知識を必要としない操作性及びユーザ・インターフェースであること。

エ Web ブラウザを使用し、ページの作成及び登録が問題なくできること。

オ ホームページを公開しているウェブサーバーとは異なるサーバーに CMS を設置出来ること。

(2) 信頼性

ア システムの安全対策には、万全を期すること。万一障害が発生した場合は、迅速に対応すること。

イ 直近3年間の日本国内の病院ホームページの稼働実績があること。

(3) CMS 要件

下記要件をすべて満たすこと。

ア コンテンツ作成に関する機能

(ア) コンテンツを作成するにあたり、Word、Excel 等からコピー&ペースト等の軽易な作業により、編集することが可能であること。

(イ) ページ内コンテンツの作成は、予め用意された要素（文章、画像、表組など）を自由に組み合わせ作成できること。

(ウ) 作成中のプレビューが可能なこと。

(エ) コンテンツ要素を任意の位置に容易に追加でき、並び替えが可能なこと。

(オ) Google Map 等を使用した地図や YouTube 等の動画の埋め込みができること。

(カ) 文字の装飾（斜体、太字、色の変更、リンク設定等）と文字サイズの変更ができること。

(キ) 文章の位置を変更（左寄せ、中央寄せ及び右寄せ）できること。

(ク) 文中でリスト表記が容易に可能なこと。

(ケ) 表を作成できること。また、Excel からインポート及びエクスポートが可能なこと。

- (コ) 表内で行方向や列方向の節の結合が可能なこと。また、表内のセルに対して背景色を設定できること。
 - (サ) 画像や PDF ファイルをブラウザ上からアップロードでき、自動調整できること。また、画像サイズを予め指定されたサイズにリサイズできること。
 - (シ) 画像にリンクを設定できること。ブランクリンクかどうか選択ができること。
 - (ス) 画像に対してキャプションを入力できること。また、キャプションの表示位置も変更が可能なこと。
- イ ページ管理に関する機能
- (ア) ページの分類や階層構造が分かりやすく、容易に更新対象ページに辿り着ける管理画面であること。
 - (イ) CMS で作成したページは、すべて静的な HTML ファイルで生成されること。
 - (ウ) 全てのページに共通のデザインヘッダー及びフッターが配置されていること。
 - (エ) レスポンシブデザインに対応していること。
 - (オ) 公開期間を指定することにより、自動的にページの公開及び非表示を切り替えることが可能なこと。
 - (カ) ページ作成日時、更新日時が管理されること。
 - (キ) ページの並び順を容易に変更できること。
 - (ク) ページのコピーや移動ができ、また、複数ページの一括削除が可能なこと。
- ウ セキュリティに関する機能
- (ア) ランサムウェア等の様々なサイバー攻撃を防ぐための機能が備わっていること。
 - (イ) 公開サーバーに CMS をインストールしないこと。
 - (ウ) 別途 CMS 用のサーバーを取得し、静的な HTML ファイル等を同期する形式でホームページを公開すること。
- エ その他の機能及び要件
- (ア) 新着情報は、重要なお知らせや採用情報と分けて掲載できること。
 - (イ) CMS の操作履歴を確認できること。
 - (ウ) トップページに表示するバナーを管理できること。バナーの公開期間をあらかじめ設定できること（公開期間が過ぎたバナーは自動的に非表示にする。）。
 - (エ) 「サイトマップ」が自動で生成され、常に最新の状態であること。
 - (オ) 「パンくずリスト」及び「ローカルナビゲーション」が自動生成され、常に表示されること。
 - (カ) 音声読み上げソフト利用時に、ナビゲーションをスキップでき、読み上げ内容が理解できるよう、読み上げ順等に配慮すること。
 - (キ) 文字を拡大する機能や文字や背景色を変更する機能等を付与し、視覚に障がいがある人も利用しやすいものとする。
 - (ク) すべてのページに対して印刷用ページより A4 用紙サイズプリントができるようにすること。
 - (ケ) CMS の管理画面はログイン機能を有し、十分なセキュリティを確保すること。また、常時最新のバージョンに更新できると共に、常に最新のセキュリティが施され、最新の機能を使用できるようにすること。

9 サーバー要件

- (1) 新ホームページを公開するサーバーについては、原則として現行のホームページを公開しているサーバーを継続利用することとするが、より良い条件が提案できる場合は、別サーバーの仕様等を提示した上で、提案することができるものとする。
- (2) サーバーは、下記の条件を満たすことが望ましい。
 - ア 震災等天変地異ならびに火災・停電等に対して十分対策されているデータセンターに設置されたサーバーを使用すること。条件を満たすものであれば、レンタルサーバーの使用も可とする。
 - イ サーバーの乗っ取り、ウェブページの改ざん、情報漏洩、情報の遺失等を防止するため、万全のセキュリティを維持し、データの定期的なバックアップを実施できること。
 - ウ サーバー等機器類の故障が発生した場合、必要な修理及び修繕作業を実施すると同時に、代替機への切替え等を実施し、ホームページが閲覧不能となる時間を最低限に留めること。
 - エ セキュリティ維持のため、必要に応じてソフトウェアのアップグレードを常時実施すること。
 - オ サーバー等機器類及びソフトウェアについては、初期導入並びに維持管理が低コストであり、負荷に強く拡張性が高いものを選定すること。

10 セキュリティ対策

- (1) 適切なパッチの適用及びバージョンアップ等によりシステムのセキュリティを確保するとともに、ウイルス等の悪意ある脅威について、被害を未然に防ぎ、その拡大を防止するために必要な措置を講じること。
- (2) 外部からの不正アクセス行為、不正アタック行為及びコンピュータウイルス脅威等に対して適切な対策を講じること。
- (3) 個人情報扱うコンテンツについては、個人情報の漏えい及び改ざん等の防止について明確な対策を実施すること。
- (4) 異常または障害が発見された際には、直ちに当院へ連絡し、復旧手段について万全を期す体制及び運用が可能であること。また、障害発生時には原因を調査の上、報告書を提出すること。
- (5) セキュリティ対策について、仕様書に記載がなく必要と考えられるソフトや考え方について提案すること。

11 操作マニュアルの作成及び操作研修の実施

- (1) ホームページを作成する際に一般的に必要な知識、注意すべき事柄を説明するための運用マニュアルを作成すること。また、CMSの操作方法について、運用マニュアル、システム管理者、承認者及び作成者別に操作マニュアルを作成すること。

なお、専門的な知識がない職員でも、内容を見ただけで操作できるよう、当院独自にキャプチャ画像を表示し、わかりやすい表現で記述された操作マニュアルを作成すること。
- (2) 当院職員が本業務に理解を深めるとともに、システムへの習熟度及び情報発信の重要性の理解を深めることができるよう、研修を実施すること。

なお、実施時期等については、当院と協議の上、決定すること。

12 保守・運用管理

- (1) 運用管理
 - ア 必要に応じて情報処理技術者や機器等の保守要員を配置する等、作業が適切かつ効果的に実施できる体制整備、人員配置を行うこと。

イ システムに異常があった時には、業務責任者の管理のもと、速やかな問題解決を図ること。また、メール等により異常を検知するシステム構成とすること。

(2) 更新作業

ホームページの更新については、当院職員が CMS を用いて作成、修正および削除作業を行うことを基本とするが、CMS に対応できない大幅な改編については、当院職員の指示により作業を行うこと。また、システム変更があった場合、操作マニュアルに対しても適用し、最新版を電子データで提供すること。

(3) 保守及び障害対応

ア システムの安定的運用を図るため、ソフトウェアに関して定期的な保守を行うこと。

イ ソフトウェアやコンテンツ等に脆弱性が発見された場合は、パッチを適用する等のセキュリティ対策を行うこと。

ウ 障害への対応については、当院と調整を行い、システムをはじめとする各種ソフトウェアの復旧対応及びデータの復旧作業を行うこと。また、サイバー攻撃を受けた場合等の緊急時には、可及的速やかに対応すること。

エ 障害対応履歴の集積・分析、障害原因の分析により再発防止を行うこと。

(4) 運用支援

ア トップページ、テンプレートの改修や軽微なサイト構成の変更等、ホームページ管理者等が行えない場合の支援を行うこと。

イ 人事異動等でホームページ管理者等が変更になった場合、当院の求めに応じて、適宜操作研修を実施すること。

ウ 導入後の操作方法やシステム運用等に関する技術的な問い合わせに対応すること。

なお、対応時間は、原則月曜日～金曜日の午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分まで及び第 1・3・5 土曜日の午前 8 時 30 分から午後 0 時 30 分までとする。ただし、緊急時には、柔軟に対応するものとする。

エ 問い合わせの受付及び回答手段は、電子メール、電話及び FAX とする。ただし、緊急性の高いものについては電話を利用すること。